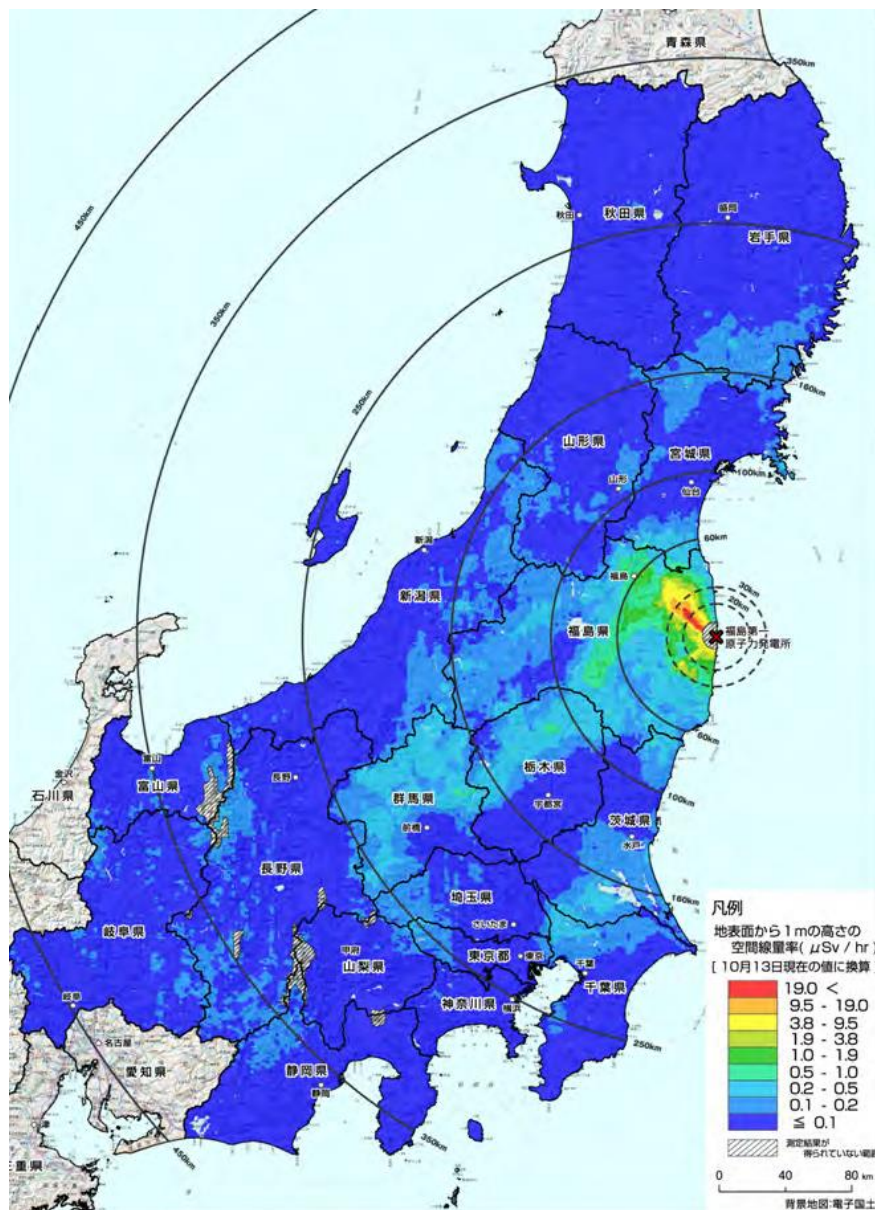


# 原発事故と健康

安藤 満

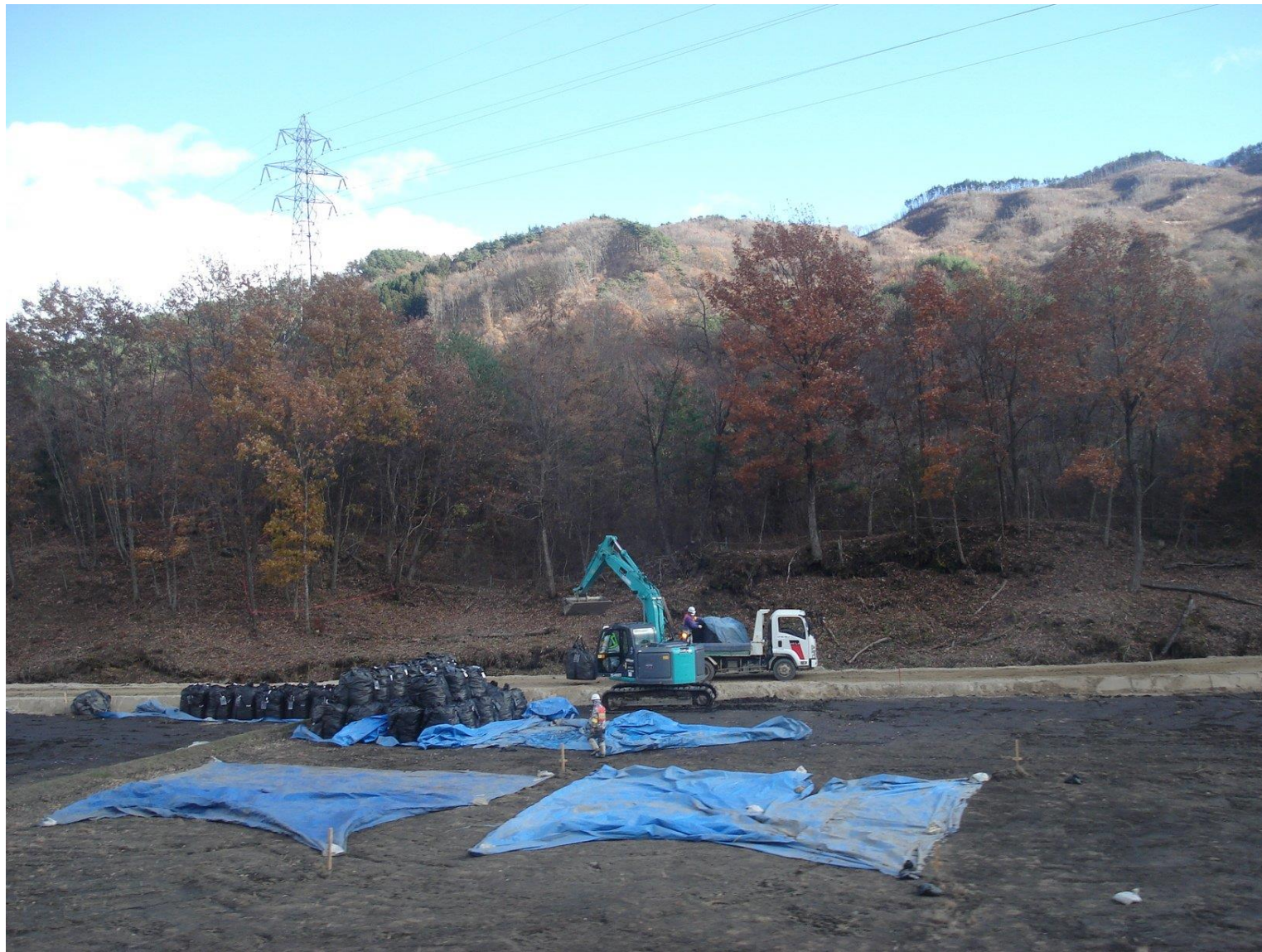
日本農村医学研究所客員研究員  
元国立環境研究所総合研究官

# 地表面から1mの空間線量率 ( $\mu\text{Sv}/\text{h}$ 10月13日換算値) 三区域へ見直 第4次航空機モニタリング(2011年11月11日文科省)



# 農地除染後の仮置き場が点在

1.0 $\mu$ Sv/h $\sim$ 1.9 $\mu$ Sv/h 平均1.33 $\pm$ 0.271 $\mu$ Sv/h



# US National Academy of Sciences

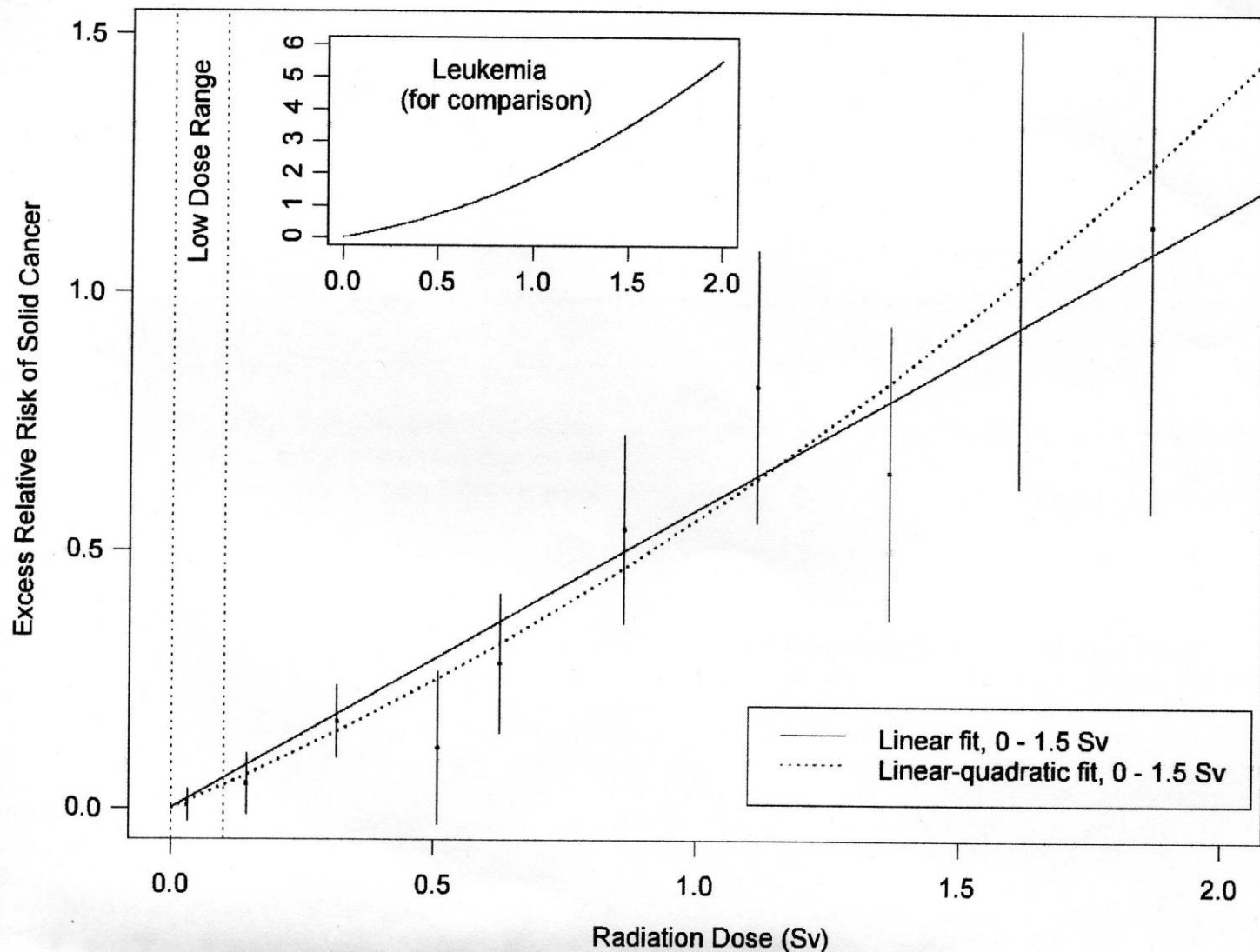
## BEIR VII Committee, 2006

**The risk seems to continue in a linear fashion at lower doses without a threshold (called the “linear no-threshold” or LNT model).**

However, there are uncertainties concerning the magnitude of the effect, particularly at doses much lower than about 100 mSv.

低線量域被爆にも閾値無し of 直線的リスク  
LNTモデルが予想される。ただし100mSv以下では影響の強さに不確実な面がある。

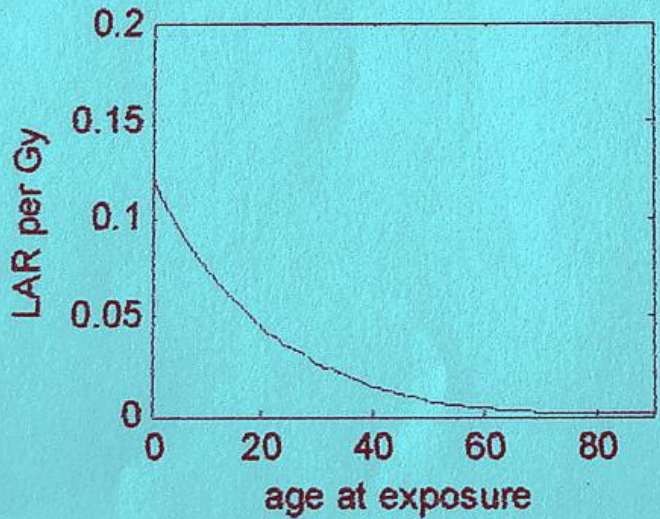
# 放射線被曝(30歳被曝60歳時、Sv)による固形がん発生の過剰相対リスク: 一次関数モデル(実線:LNT BEIR VII)



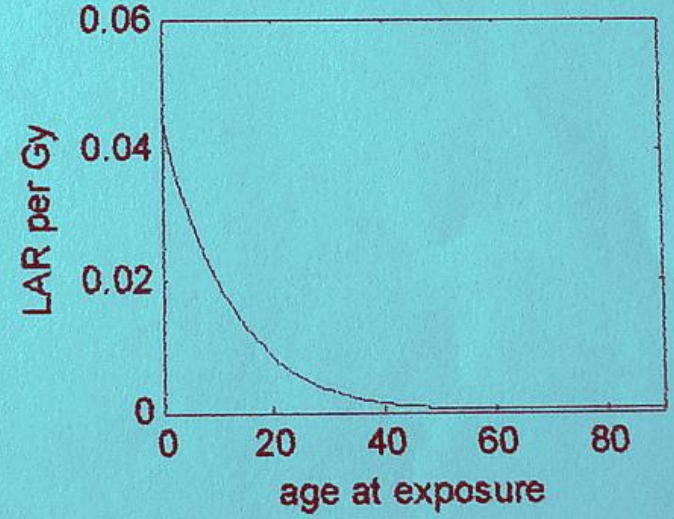
若年者ほど放射線に高感受性

がん発症のリスクが高い (USEPA)  
甲状腺がん・白血病・乳がん・骨肉腫

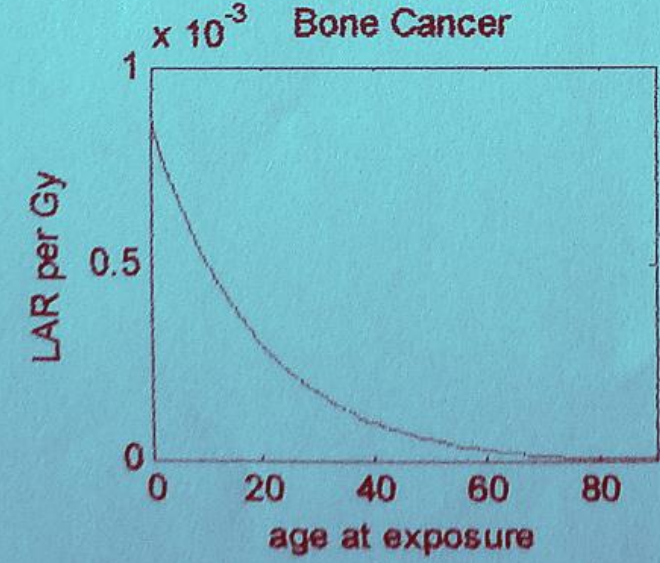
Breast Cancer



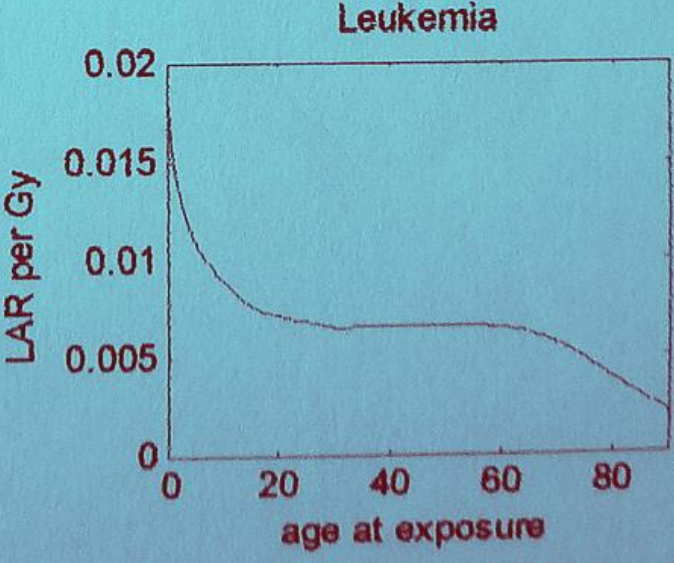
Thyroid Cancer



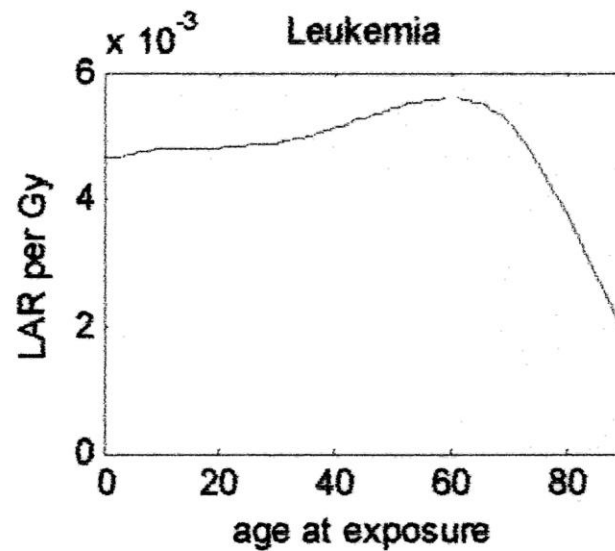
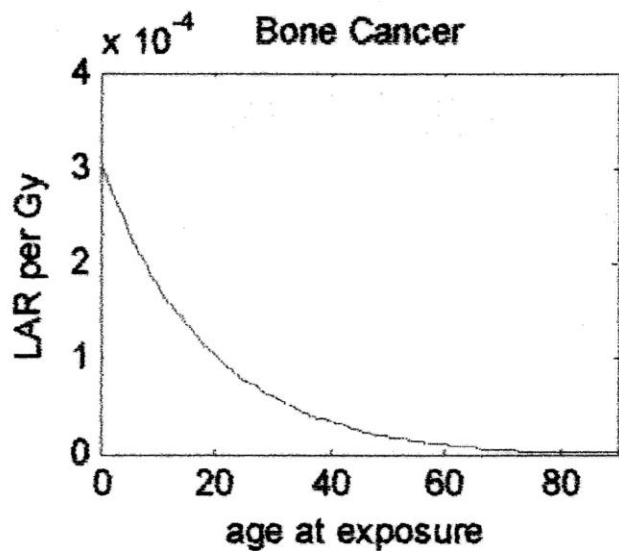
Bone Cancer



Leukemia



骨肉腫（左図）と白血病（右図）死亡率に及ぼす被曝年齢別  
（横軸）放射線による生涯寄与リスク（縦軸：LAR per Gy）  
（USEPA, 2008）



## ドイツメルケル首相の2015年3月10日来日記者会見

「私は核の平和利用には賛成してきました。私の考えを変えたのは、福島原発事故でした。日本という高度な技術水準を持つ国でも、リスクがあり事故は起きるのだということを如実に示しました。

だからこそ私は多くの同僚とともに脱原発の決定をくださったのです。ドイツの最後の原発は2022年に停止し、核の平和的利用の時代が終わって、私たちは別のエネルギー制度を築き上げるのだという決定です」。